

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局



(43) 国際公開日  
2005 年 5 月 6 日 (06.05.2005)

PCT

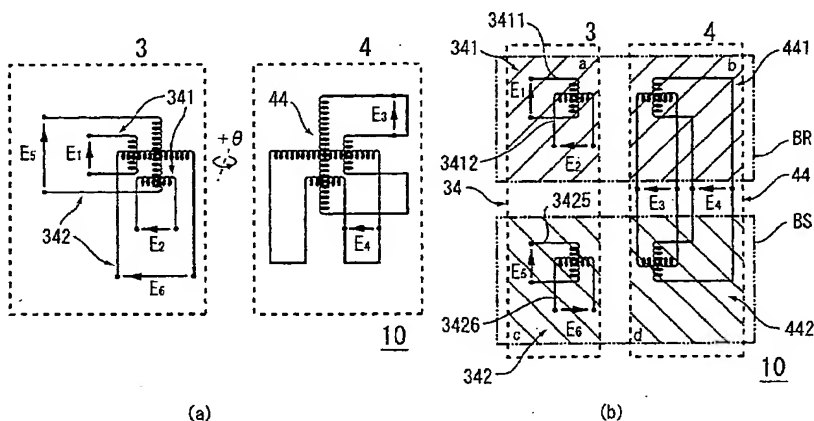
(10) 国際公開番号  
WO 2005/040731 A1

- (51) 国際特許分類<sup>7</sup>: G01D 5/245  
(21) 国際出願番号: PCT/JP2003/013541  
(22) 国際出願日: 2003 年 10 月 23 日 (23.10.2003)  
(25) 国際出願の言語: 日本語  
(26) 国際公開の言語: 日本語  
(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 多摩川精機株式会社 (TAMAGAWA SEIKI CO., LTD.) [JP/JP]; 〒395-8515 長野県 飯田市 大休 1879 番地 Nagano (JP).  
(72) 発明者; および  
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 木村 諭 (KIMURA, Satoshi) [JP/JP]; 〒039-2245 青森県 八戸市 北インター工業団地一丁目 3 番 47 号 多摩川精機株式会社 内 Aomori (JP).  
(74) 代理人: 富沢 知成 (TOMISAWA, Tomonari); 〒039-2245 青森県 八戸市 北インター工業団地一丁目 4 番 43 号 八戸インテリジェントプラザ内 Aomori (JP).  
(81) 指定国 (国内): US.  
(84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR).  
規則 4.17 に規定する申立て:  
— ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR) の指定のための出願し及び特許を与えられる出願人の資格に関する申立て (規則 4.17(ii))  
— US のみのための発明者である旨の申立て (規則 4.17(iv))

[続葉有]

(54) Title: BRUSHLESS RESOLVER AND ITS CONSTRUCTING METHOD

(54) 発明の名称: ブラシレスレゾルバとその構成方法



(57) Abstract: A brushless resolver (10) comprises exciting signal transmitting means for transmitting a resolver exciting signal from the stator (3) side to the rotor (4) side in a noncontact way and a resolver part (7) for modulating the resolver exciting signal according to the angle of rotation to be detected. The resolver part (7) also serves as exciting signal transmitting means. The resolver part (7) is constituted of a pair of a rotor (4) composed of a rotor iron core (43) having slots and wrapped with a rotor winding (44) and a stator (3) composed of a stator iron core (33) having slots and wrapped with a stator winding (34). The manufacturing cost can be lowered, and an arbitrary shaft multiple angle such as a shift multiple angle 1 can be set up.

(57) 要約: 本発明のブラシレスレゾルバ 10 は、ステータ 3 側からロータ 4 側へレゾルバ励磁信号を非接触で伝達するための励磁信号伝達手段と、検出すべき回転角に応じて該レゾルバ励磁信号を変調するためのレゾルバ部 7 とを備え、レゾルバ部 7 が励磁信号伝達手段を兼ねるものとする。レゾルバ部 7 は、スロットを有しかつロータ巻線 44 の施されたロータ鉄心 43 からなるロータ 4、および、スロットを有しかつステータ巻線 34 の施されたステータ鉄心 33 からなるステータ 3、の二組から構成する。これにより、コスト低減が可能であり、軸倍角 1 を含む任意の軸倍角を得ることができる。



添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。